平成２９年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂　博　　羽立　秀光
調査実施年月日	平成３０年２月１５日（木）
調査先　自治体名等	香川県丸亀市
調査項目	行政評価について
調査目的	行政評価について
報告内容 実施したこと	１　視察先（市町村）の概要 人口：１１０，０１０人　行政面積：１１１．７９ｋ㎡ ２　視察内容 ・行政評価について ・
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	◎　経緯について [平成１８年、丸亀市総合計画基本構想が９月定例会にて議決] ○平成１９年４月、丸亀市総合計画がスタート ①市民の視点に立った成果重視の行政運営 ②行政活動の継続的な改善と職員の意識改革 ③行政の透明性の確保と説明責任の遂行 **内部評価** 【一次評価】施策や事務事業を所管する部課による自己評価 ☆事務事業評価 ・各事業を必要性、効率性、有効性から、 妥当であるか改善の余地ありで自己評価 必要性の視点→社会情勢や市民ニーズに適っているか →市が実施する必要があるか →緊急性や継続性の面から必要か 効率性の視点→コストや実施方法、利用者負担は適正か →事務改善等による効率化が望めないか 有効性の視点→見込んだ成果が得られているか →目標達成に向けて有効な事業か ・評価結果を基に事業の方向性を判定 拡充・改善・維持・縮小・廃止・完了 ☆施策評価 ①成果指標の進捗度や事務事業評価結果を踏まえて５段階の自己評価 ②総括として「担当部長が考える改善策」を記述

	【二次評価】全庁的な観点から、副市長、市長公室、総務部が中心となって行う評価 ☆施策評価（事務事業評価なし） ①総合的な観点から５段階評価 ②必要な所見を付記 **外部評価** 行政外部の視点から、丸亀市行政評価委員会が行う評価 学識経験者「５名」と公募により選任した者「３名」の計８名 ☆事務事業評価 ①委員会において評価対象事業を選定し、各委員が一次評価と同様の手法で評価 ②議論の上、委員会としての事業の方向性を決定 ③評価結果、必要な所見及びその他意見等を付記し、報告書を作成 ④「行政評価（外部評価）報告書」として市長へ提出 《感想》 内部評価だけではなく、外部評価も行うことによって、職員の意識改革が図れるとともに事業の成果を意識した政策が期待できる。 また、外部評価によって事務事業を客観的に見直すことができるとう利点がある。